

15	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	15106002	レーザー励起テラヘルツ波の高度応用	萩行 正憲 (大阪大学・レーザーエネルギー学研究センター・教授)	A
<p>(意見等)</p> <p>テラヘルツ波の応用は近年とみに注目されているが、本グループは長年の実績を有し、いち早く有益な応用例を実証してきている。この点は高く評価され、一層の研究推進が望まれる。特に、実用上大変意義のある、半導体レーザーを光源とするシステムの構築は、本グループの独創であり、ぜひとも本格的な取り組みを期待したい。しかしながら、計画書を見る限り、このテーマは数あるテーマの一つに過ぎないようである。中間点の今、テーマの整理を行い、あまり優位性を発揮できそうにないものは縮小し、研究資源を、上記半導体レーザーを光源としたシステムの開発に集中すべきではないか。物性評価やフォトニック結晶への応用は、どのような新しい物性研究ができるのかが見えず、従来法との差別化が難しいのではないか。</p>				
16	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	15106003	超高精度 X 線ミラー作製による高分解能硬 X 線顕微鏡の開発	山内 和人 (大阪大学・大学院工学研究科・教授)	A
<p>(意見等)</p> <p>世界最小レベルの硬 X 線集光を実現し、研究成果は十分である。この成果は招待講演等で敷衍されている。残研究期間において、計画書に基づく成果を上げる事を期待する。また、医療関係の極微小情報が、本研究以前の成果によって得られる事も判明しており、これを発展版である本研究のなかにおいても、追及される事を期待する。</p>				